

土佐の名門 2 コースで競う

令和 5 年 10 月 30～31 日、高知で 17 回生の第 18 回ゴルフ会を開催。青天のもと、特有の海風もなく、雄大な景色を満喫しながら競った。大会前日は高知城やひろめ市場などを訪れ、夜は龍馬の湯で寛いだ。

前哨戦の黒潮 CC は 1 か月後にトーナメントを控え、傾斜のグリーン、深いラフと難易度は高く、2 打差内での混戦となった。優勝は後藤君、NP 賞は後藤・栗林君が獲得した。

前夜祭は老舗“土佐司”で鰹タタキなどの土佐料理を堪能しながら、酔鯨などの地酒で一気に盛り上がった。

本戦は女子プロ第 2 戦の土佐 CC で、太平洋を臨む室戸コースと起伏がある桂浜コースで繊細な技が求められた。一瞬の油断がスコアの乱れとなり、全員で獲得したパーは 21 個と少なく、5 打差内での混戦となり、HD の多寡が順位を決めた。

優勝は田川君、最多の 5 パーに NP 賞を獲得し、乱れたスコアは全て HD に反映されるという完璧さで初の栄冠、賞品の土佐”6 生酒”を素直に喜んでいた。準優勝は小田、スタート 4 ホールで乱れたが、パー 4 個と HD に恵まれ、司牡丹大吟醸を獲得した。3 位は溝辺君、手術後の不調を多年にわたり培ってきた技による安定プレーで切り抜け、土佐鶴千寿を獲得した。

以下、最近 5 回で 3 回の優勝と HD 戦に強いはずが、大きな乱れもなく、パーも少なかった鍵本君、後半にパー 4 個と追い

上げ実力の一端をみせ、賞品の吟醸酒を披露して喜んでいた栗林君、パー4個・DC賞(2)・NP賞を獲得し、混戦を終始リードしていたが、乱れたホールがHDに反映されなかった柴田君、前半で混戦をリードしながら、珍しく後半は調子が上がらず、HD戦での強さを発揮できなかった後藤君と、皆さん、賞品として土佐の銘酒を獲得した。

次回もピンピンコロリを目標に、再会することを誓い散会した。土佐の2日間、まっこと、満足だったぜよ！

▼出席者(敬称略)田川俊夫、溝辺憲治、栗林保幸、柴田宏二、小田哲生、鍵本明、後藤克己 (小田哲生記)

